只見振興センターだより

創刊号

平成２６年９月２６日発行　発行者：只見地区地域づくり委員会広報広聴部

只見地区センターから只見振興センターに生まれ変わりました！

平成26年度の機構改革により、名称がこれまでの地区センターから振興センターに代わりました。

●大きな変更点

【地区センター】
住民主体の町づくりを推進する拠点。地域の要求を把握し、住民を基本とした町政の執行をする。

【振興センター】
住民と行政が協働してより住みよい町をつくる。地域の学びの場及び地域づくりの拠点となる。

これまでのまちづくり推進員から、生涯学習活動を推進するため、生涯学習推進員が配置されました。

只見振興センター組織図

只見振興センター運営審議会
会長：菅家二千六
鈴木小枝子・五十嵐辰男
二瓶悦子・横山 隆・鈴木慎介

地域づくり委員会
会長：五十嵐辰男
副会長：渡部仁一
　　菅家和人
庶務・会計：原田郁子
監事：美馬典昭
　　目黒衛男

只見振興センター
センター長：梁取洋一
生涯学習推進員：山内せん
臨時職員：三瓶美由紀

企画推進部
部長：大竹健一
副部長：鈴木佳憲
三瓶彰治・黒田晶子
五十嵐広雄・目黒千里
五十嵐あけみ・五十嵐和弘

広報・広聴部
部長：目黒道人
副部長：長谷川清之
三瓶彰治・須佐金子
青田亮一・酒井 孝

地域づくり委員
目黒達矢・佐藤学・皆川淳
鈴木尚・新國誠・二瓶悦子
五十嵐安次・五十嵐潤之介
佐藤秀夫・佐藤則夫
長谷部克則

只見振興センター長 梁取洋一

4月の人事異動により、只見振興センター長となりました舘ノ川の梁取洋一です。

皆様のお力添えをいただき、住みよい町づくりが出来ればと思います。お近くにお越しの際は是非お立ちよりいただき、身近なお話を聞かせください。

只見地区地域づくり委員会会長 五十嵐辰男

本年4月に只見地区地域づくり委員会として新たなスタートしました。従来より取り組んできた国道289号線の早期開通運動、只見線の只見～川口間の早期復旧など、みんなで運動を展開していきましょう。

只見振興センター運営審議会会長 菅家二千六

今年から振興センター運営審議会ができました。「地域づくり委員会」と共に職員の方は従来の形や慣習にとらわれることなく、強いリーダーシップの下に住民の声を聴き、新しい視点で地域活性化の推進に取り組んでいただくことを期待します。

木造建築見学会に行ってきました

8月22日～23日にかけて、新しい只見振興センター建設にあたり、只見振興センター建設検討委員11名が木造建築2施設、会津坂下町八幡コミュニティーセンターと、山形県白鷹町文化交流センターを見学してまいりました。

八幡コミュニティーセンターでは建設にあたり情報便も発行されており、大変勉強になりました。

今後、只見振興センター建設にあたり、皆様からの率直な意見をお近くの建設検討委員にお話しいただければと思います。

見学した参加者ら

長い間ありがとう開発センター

8月上旬よりこれまで町のシンボル的存在であった、只見総合開発センターが耐震強度不足、老朽化等により11月末日までの予定で解体が始まりました。

開発センターは昭和44年7月に「産業開発と社会生活機能の維持改善を図る施設」として総工費1億2570万円をかけ建設され、只見地区の結婚式場や文化祭会場として広く町民に活用されてまいりました。ありがとう、只見総合開発センター。

解体作業中は危険なので近づかないでください

只見線に乗ろう

JR只見線の全線再開通を願って、乗車人数アップを図ろうと只見駅を利用する人が増えています。町内の団体または町民5人以上で、町の補助金が活用できますので、みなさんも鉄道の旅を計画してみてはいかがでしょうか。

只見線に手を振ろう！
＼(^o^)／＼(^o^)／

小水力発電によるイルミネーション

町下体育館脇に只見養魚場の排水を利用して発電する「軽水力発電機」が設置され、イルミネーションライトを点灯させています。只今試験操業中で、流水に流れてくるゴミ対策に四苦八苦しておりますが、自然エネルギーで点灯する「イルミネーション」を是非見に来てけやれ。

明るく楽しくなりました

地域の話題

イベントピックアップ！

5月11日

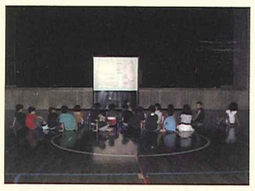
町民ハイキング開催

参加者１６４名が晴れ空の下、ハイキングを楽しみました。

7月25日

夏休み映画会

２２名のこめらが集まり、おじゃる丸とズッコケ三人組の映画を楽しみました。



8月7日

災害学習列車

小学生１１名が只見線に乗り豪雨災害の被災地を見学しました。

9月7日

第９回只見駅前通りウキウキわいわいフェスタ

晴天の下、ウキウキわいわいフェスタが開催され、約１５００名の町民で賑わいました。

6月25日

キャラ弁講座開催

今、話題の楽しいキャラ弁の作り方を参加者７名でおいしく学びました。

8月2日～3日

第４回Ｒ２８９フルコース踏破事業

只見高校生３６名が新潟県庁からいわき市勿来の関までの道のり約３００kmをママチャリで走破しました。

8月１４日～１５日

只見地区納涼盆踊り大会

只見地区の盆踊りが７年ぶりに復活！
帰省客など大勢のみなさんで盛り上がりました。

9月１４日

只見町敬老会

１９３名のお年寄りが楽しみました。これからも達者で長生きしてけやれー！＼(^o^)／

マイマイガの卵駆除に高圧洗浄機を貸出します。

今年、大量発生したマイマイガはシーズンを過ぎていなくなってしまいましたが、木や街灯などに大量の卵を産み付けていきました。今のうちに卵を駆除しておかないと、来年の春に大量の毛虫が産まれ、マイマイガの大量発生に繋がります。

卵駆除のために高圧洗浄機を用意いたしました。貸出いたしますので振興センターまでお問い合わせください。

パワフルな高圧洗浄機

自然首都只見地域づくり交付金

平成26年度より3年間の予定で各集落合計１００万円を上限とし、地域づくりのための交付金が申請により交付されます。今年度は十島、蒲生、八木沢、叶津、只見、黒沢集落が事業を導入されました。今後他の集落もこの事業を導入し、住みよい地域づくりの基盤としていただければと思います。

集落名	導入事業	金額（計画）
十島	ワラビ山道路除雪	216,000円
蒲生	蒲生集落活性化事業	300,000円
八木沢	豪雨災害記念碑建立	789,660円
叶津	防犯灯工事　21基	499,170円
只見	只見子どもまつり等伝承行事継承事業	531,000円
黒沢	防犯灯工事　11基	285,120円
	合計６集落	2,620,950円

あとがき

変わらず長く続けることは価値あることですが、変わることを恐れず継続してくこともときに必要です。今号はこれまでにない紙面構成を試みてみました。楽しんでいただけましたら幸いです。

広報広聴部長　目黒道人